



川西薩地区2市4町3村

川内市・串木野市・樋脇町・入来町・東郷町・祁答院町  
里村・上甌村・鹿島村

# 法定合併協議会だより

2003  
創刊号  
平成15年1月号

発行責任者：川西薩地区法定合併協議会／会長 森 卓 朗／編集：川西薩地区法定合併協議会事務局 川内市神田町3番22号  
TEL.0996-23-5111 FAX.0996-22-6295 E-mail ssg@sendai-net.jp ホームページアドレス <http://www.senseisatu-gappei.kagosima.jp/>



法定合併協議会構成市町村の  
首長と議会議長



川内市で開かれた法定合併協  
議会の第1回会議

## 法定合併協議会を設置

### 川西薩地区2市4町3村

川内市、串木野市、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、里村、上甌村、鹿島村の二市四町三村による川西薩地区法定合併協議会が昨年十二月二十五日、県内最初の法定合併協議会として設置されました。

川西薩地区任意合併協議会は二市四町四村で十月七日に発足し、四回にわたり会議を開催。合併にかかわる調査研究に関する事項、新市まちづくり計画の策定方針に関する事項、法定合併協議会設置に関する事項、合併に関する基本的事項等について協議、共通の認識と理解を積み上げてきました。

この間、下甌村から法定合併協議会への参加について留保したい旨が表明され、法定合併協議会は下甌村を除く二市四町三村で設置されることになりました。

十二月二十五日の法定合併協議会の設置会議と第一回会議では、役員に任意合併協議会と同様、会長に森卓朗・川内市長、副会長に富永茂穂・串木野市長、黒瀬一郎・樋脇町長、原口博文・川内市議会議長を選出。協議会会議運営規程、平成十四年度事業計画・歳入歳出予算などを承認しました。

法定合併協議会では今後、原則として毎月二回のペースで会議を開き、平成十六年十月の新市誕生を目指して協議を重ねていくことになっています。

# 魅力ある地方拠点都市を目指して

## 法定合併協議会設置のごあいさつ

### 会長

川内市長 森 卓朗



る思いをしております。

川西薩地区法定合併協議会は鹿児島県の中で一番目の法定合併協議会の立ち上げとなりました。ここに至るまで鹿児島県のご指導のもとにそれぞれの構成市町村の皆様方といるるな問題について協議を進めてまいりました。皆様方の心をひとつにして、力を合わせて取り組んできた成果が県内一番目の法定合併協議会設置につながったと思います。

これから任意合併協議会の成果を十分に活用し、多彩な地域の個性を生かし、歴史・文化を大切にしながら、魅力ある地方拠点都市の誕生に向かって皆さんと共に一生懸命力を合わせて取り組んでまいりたいと存じます。

九つの市町村の間には調整しなければならぬ四千項目以上の事務事業があります。

一つひとつ温度差があるので、これらを皆様方と一緒に、お互いに互譲の精神を發揮し、住民の福祉増進につながることを一番の目標に掲げ、譲るべきところは譲り、改めるところは改めながら一つひとつの事務事業を審議していきたく存じます。

具体的な業務等については助役を中心とする幹事会、九つの専門部会、その下に四十五の分科会で取り組んでいただくこととなります。構成市町村の一千八百人及び職員の皆様方にも各市町村の合併対策本部の中でそれぞれ協議していただくこととなります。また各市町村の議会においても議会あるたびごとに合併問題についていろいろと審議していただき、それらを法定合併協議会の場に持ち寄り、素晴らしい未来を開く、新しいまちをつくらせていかなければなりません。

平成十六年十月、鹿児島市に対抗し得る複眼拠点都市として誕生し、力強く発展するように、これからも皆様方と力を合わせ、汗と知恵を絞っていきこうではありませぬ。ご協力をお願いします。

### 副会長

串木野市長 富永茂穂

副会長という重責をお預かりいたします

### 副会長

川内市議会議長 原口博文



副会長という重責をおおせつかり、感謝申し上げます。私は議会の代表として、議員の意見を尊重しながら会長を補佐していくのが役目だと思っております。その役目を果たし、新しいまちづくりに頑張っていきたいと思っております。

### 県総務部長あいさつ

県総務部長・佐々木 敦朗氏

川西薩地区においては合併に向けたさまざまな調査研究、協議検討を重ねられ、法定合併協議会がめでたく発足することになりました。これもひとえに関係市町村の皆様方の郷土愛、努力の賜物と深く敬意を表します。

市町村合併は将来にわたり皆様方の地域に大変大きな影響を与える事柄です。さまざまな困難もあるかと思いますが、来るべき時代を見据え、皆様方の英知を結集し、これからの地方分権の時代にふさわしい、住民の皆様方に真に役立つまちづくりを目指して今後精力的に協議を進めていただきまますよう期待しています。県としてもできる限りの支援を行っていきたく思います。

(12月25日の法定合併協議会第1回会議での来賓あいさつから)



### 副会長

樋脇町長 黒瀬 一郎

川西薩地区法定合併協議会の副会長という重責をおおせつかりました。会長、副会長さん方を補佐しながら、立派な新しいまちができるように微力ながら一生懸命頑張つてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。



月の新市誕生に向けて取り組んでいきたいと思っております。皆様方のご協力を得て、会長を補佐しながら、お互いに和やかな雰囲気です素晴らしいまちづくりを目指します。

# 川西薩地区法定合併協議会のメンバーです

1月6日現在

## 《協議会会長及び委員》

市町村名	区分	職名	氏名	摘要
川内市	行政	市長	森卓朗	会長
		市助役	岩切秀雄	
	議会	議長	原口博文	副会長
		市町村合併対策特別委員会委員長	今別府哲矢	
	学識経験者		田中憲夫	
申木野市	行政	市長	富永茂穂	副会長
		市助役	上醉尾巧	
	議会	議長	福田清宏	
		副議長	下迫田良信	
	学識経験者		後夷安男	
樋脇町	行政	町長	黒瀬一郎	副会長
		町助役	宮脇秀隆	
	議会	議長	野久尾正徳	
		副議長	帯田博美	
	学識経験者		大津正利	
入来町	行政	町長	福元忠一	
		町助役	石塚政揮	
	議会	議長	山本佐敏	
		副議長	上野一誠	
	学識経験者		田島忠志	
東郷町	行政	町長	森蘭正堂	
		町助役	寺師勉	
	議会	議長	渡辺一徹	
		副議長	北迫茂	
	学識経験者		山元温治	
祁答院町	行政	町長	今村松男	
		町助役	平田陽一	
	議会	議長	瀬尾和敬	
		副議長	肥後耕作	
	学識経験者		川畑禮二	
里村	行政	村長	塩田至平	
		村助役	鷺山和悍	
	議会	議長	岸平道夫	
		副議長	平嶺道夫	
	学識経験者		純浦勝志	
上甕村	行政	村長	山下欽一郎	
		村助役	藏元秀徳	
	議会	議長	村尾幸生	
		副議長	大良影夫	
	学識経験者		西仙可子	
鹿島村	行政	村長	尾崎嗣徳	
		村助役	中野捷	
	議会	議長	塩釜三郎	
		議員	橋野利邦	
	学識経験者		小村庄昌子	
			塩釜悦子	

## 《顧問》

区分	職名	氏名
鹿児島県	総務部地方課長	高山大作
	総務部地方課市町村合併推進室長	西中須浩一
	川内総務事務所長	馬場英俊

## 《監査委員》

市町村名	役職等	氏名
入来町	代表監査委員	里平盛人
東郷町	代表監査委員	中村昌弘

## 《幹事会幹事》

区分	所属市町村名等	氏名
助役	川内市	岩切秀雄
	申木野市	上醉尾巧
	樋脇町	宮脇秀隆
	入来町	石塚政揮
	東郷町	寺師勉
	祁答院町	平田陽一
	里村	鷺山和悍
	上甕村	長濱秀徳
専門部会長	鹿島村	中野捷
	総務部会長	申木野市総務企画部長 富吉光義
	企画財政部会長	川内市企画経済部長 平敏孝
	産業経済部会長	東郷町経済課長 上戸健次
	住民健康福祉部会長	申木野市市民福祉部長 山下二直男
	建設部会長	川内市建設部長 新武博
	上下水道部会長	申木野市建設部長 田中勇造
	教育部会長	入来町教委総務課長 本田憲證
	電算情報部会長	川内市企画経済部情報推進課長 村尾光政
	議会・監査部会長	樋脇町議会事務局長 岩下満志
合併担当部課長	川内市企画経済部長	平敏孝
	川内市企画課長	上赤勉
	申木野市総務企画部長	富吉光義
	申木野市企画財政課長	福永勝文
	樋脇町総務課長	福留久根
	入来町総務課長	水流信雄
	東郷町総務課長	知敷憲一郎
	祁答院町総務課長	鬼塚秀範
	里村総務課長	平嶺休丸
	上甕村企画課長	森尾康彦
鹿島村総務課長	梶原五郎	

## 《幹事会オブザーバー》

鹿児島県	総務部地方課市町村合併推進室主幹	中野志郎
	川内総務事務所次長	上蘭辰郎

## 《事務局》

職名	氏名	所属市町村名
事務局 長	田中良二	川内市
事務局 次長	満蘭健士郎	申木野市
事務局 次長	川野真司	鹿児島県からの派遣
総務広報班 長	森園一春	入来町
総務広報班 員	村岡斎哲	里村
総務広報班 員	橋口堅	川内市
調整第1班 長	棚町健治	申木野市
調整第1班 員	上須田敏秋	鹿島村
調整第1班 員	井手上和洋	祁答院町
調整第1班 員	平利朗	樋脇町
調整第2班 長	奥平幸己	東郷町
調整第2班 員	田代健一	川内市
計画班 長	古川英利	川内市
計画班 員	江口洋	上甕村
計画班 員	久徳和久	申木野市

# 法定協議会第2回会議を開催

## 事務事業一元化調整方針など承認

川西薩地区法定合併協議会の第二回会議は一月十四日、串木野市内で開かれました。

協議の結果、事務事業一元化調整方針(案)、新市名称候補選定小委員会設置規程(案)の各議案をいずれも承認しました。



串木野市で開かれた法定合併協議会の第2回会議

この日の会議に先立ち、法定合併協議会への参加を留保していた下甌村の町弘道村長は市町村長調整会に出席し、一月十日の臨時村議会で一般会計補正予算案から法定協参加関連の対策費が削除された経緯を説明。「できるだけ早い機会に広域合併に向けて村全体の意思統一を図り、法定協参加に向けて最善の努力をしたい」と述べました。これを受けて、関係市町村長は「門戸を開いておく」ということでは一致しま

したが、森卓朗会長は会議冒頭のあいさつで、「まずは下甌村の意思統一が必要だが、広域合併の方向性が出たとしても、事務事業一元化の作業や新市まちづくり計画の作業が進行中で、かなりの時期のズレが生じることになり、法定協への参加は厳しい。平成十六年十月の新市誕生後、合併特例法の期限が切れる平成十七年四月以降の新市

## 新市名称候補 選定小委員会を設置

への編入合併ということも考えられる」との見解を示しました。

二市四町四村からなる川西薩地区任意合併協議会の昨年十一月十八日の第三回会議で、下甌村は法定協への参加を留保しており、一月十四日の法定協議会の第二回会議までに態度表明することになっていました。

合併後の新市の名称を審議するための新市名称候補選定小委員会が一月十四日、法定合併協議会の学識経験者十八人で設置されました。委員長には田中憲夫氏(川内市)、副委員長には山元温治氏(東郷町)が選ばれました。

合併後の新市名称の決定方法については、任意合併協議会で昨年十一月、法定合併協議会設立後に協議会委員から選考委員を選出し、早い時期に公募を行い、公募結果をもとに協議を進めることを申し合わせていました。

小委員会では、新市名称の公募方法と選考基準、候補の選定などについて協議・調整することになっています。二月十三日の法定合併協議会の第三回会議に公募方法などを提案し、年内に新市名称を公募して小委員会で選定候補を提案し、法定合併協議会の審議を経て、平成十六年春に関係市町村議会の議決後、新市の名称が決定する予定になっています。



学識経験者で構成する新市名称候補選定小委員会の委員長・副委員長選任

# 事務事業一元化調整方針

関係市町村の異なる行政サービスや負担水準を統一するため、現在実施している事務事業・制度等を比較し、住民生活に及ぼす影響などを検討し、一本化するための調整案を協議する。

## 〈基本的な事項〉

- ・関係市町村のこれまでのまちづくりの歴史に配慮しつつ、合併後も現行通り存続させるもの、一元化を図るもの、廃止するものを区分。その中で、一元化を図るものについては、統合するものと再編するものを区分する。
- ・一元化を図るもの、廃止するものについては、合併時から実施するものと合併後一定期間において実施するものに区分す

る。

## 〈合併協定項目協議の原則〉

事務事業の調整に当たっては、次の基本的な方針に基づき調整する。

住民生活に支障のないよう速やかな一体性の確保に努める。

行政サービス及び住民福祉の向上に努める。

負担公平の原則に立ち、行政格差を生じないように努める。

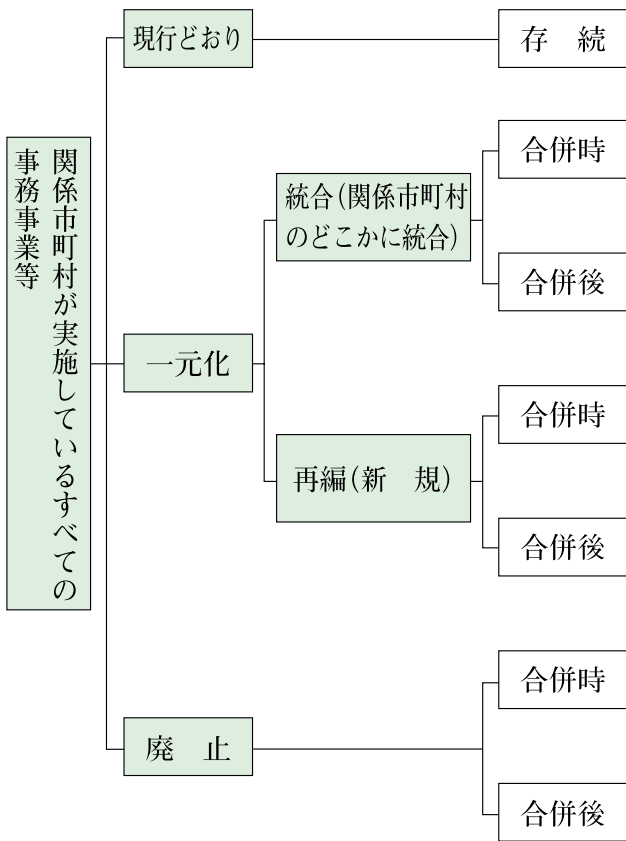
新市において健全な財政運営に努める。

行政改革の観点から、事務事業の見直しに努める。

新市の規模に見合った事務事業の見直しに努める。

公共的団体などの一本化に努める。

## 事務事業のすり合わせの基本的区分



# 新市まちづくり計画策定方針

## 〈計画の趣旨〉

新市のまちづくりを総合的かつ効果的に推進することを目的とし、本計画を実現することにより、関係市町村の速やかな一体化を促進し、住民福祉の向上と新市全体の均衡ある発展を図る。

## 〈計画の構成〉

新市を建設していくための「基本方針」及びこれを実現するための「基本計画」「実施計画」、公共的施設の統合整備及び財政計画を中心に構成。

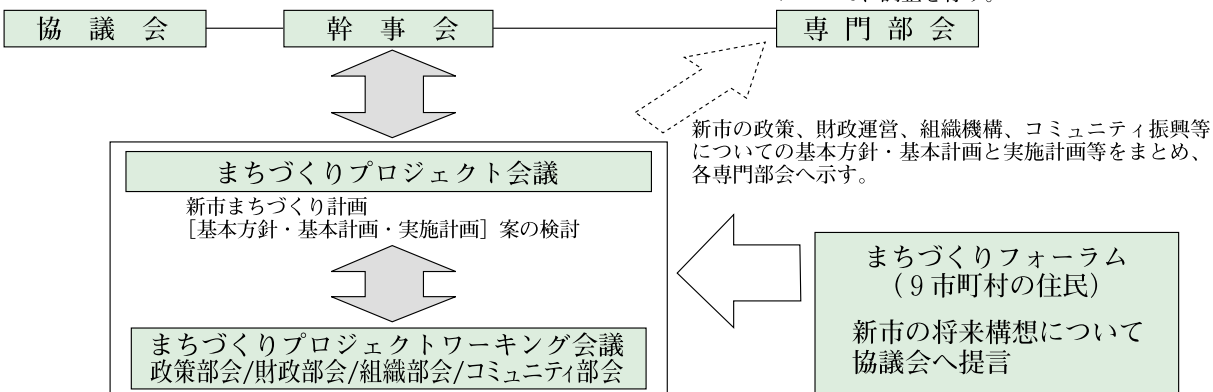
## 〈計画の期間〉

主要事業、公共的施設の統合整備及び財政計画は、合併後、おおむね十年程度の期間について定める。

## 〈計画の内容〉

- ・将来を見据えた長期的視野に立つ。
- ・基本計画並びに実施計画は、各地域の課題を把握し、その特性を生かしながら、ハード、ソフト両面にわたり効果的な事業の展開を図る。
- ・公共的施設の統合整備は、関係市町村の住民生活に急激な変化を及ぼさないよう十分配慮し、地域のバランス、財政事情を考慮しながら逐次実施する。
- ・財政計画は、新市において健全な財政運営が行われるよう十分留意して策定する。
- ・住民意向を十分に踏まえるとともに、合併の効果の最大活用及び合併に伴う懸念事項への適切な対応に十分留意して策定する。

## 組織イメージ



# まちづくりフォーラム発足

## 新市まちづくり計画へ提言

川西薩地区法定合併協議会での新市まちづくり計画に住民の声を反映させようと、関係市町村から推薦されたそれぞれ五人ずつ計四十五人で構成する「まちづくりフォーラム」が一月十日発足しました。同日の第一回会議では、森卓朗会長から

フォーラム委員に委嘱状が手渡され、社会基盤、生活環境、保健福祉、産業経済、教育文化の五つの検討グループに分かれて協議がスタートしました。当面、三月末までに五回開催し、法定協議会に将来構想について提言を行います。

「1月10日発足した「まちづくりフォーラム」

5つのグループに分かれ熱心に討議



### (まちづくりフォーラム会議計画)

会議	日時	内容
第1回	1月10日	プロジェクトチーム活動報告 現状分析
第2回	1月29日	討論
第3回	2月14日	討論
第4回	2月25日	討論(取りまとめ)
第5回	3月12日	提言案の整理
—	3月28日	協議会第4回会議で提言
第6回	4月	提言報告会準備
第7回	5月	提言報告会
第8回	7月	計画骨子案意見交換会①
第9回	7月	計画骨子案意見交換会②
第10回	平成16年1月	計画意見交換会・解散

(一部予定を含む)

「まちづくりフォーラム」の運営  
設置目的

新市まちづくり計画策定に関連して住民自身が長期的視点に立ち、新市のあるべき姿を展望しながら、まちづくりについて提言してもらう。

#### 活動内容

「新市の将来のあるべき姿」や、「まちづくりについての構想」の提言

提言に関する報告会

その他合併後のまちづくりの政策提言

#### 活動期間

平成十五年一月十日から約一年間

#### グループ分け

社会基盤 生活環境 保健福祉 産業  
経済 教育文化

### (新市まちづくり計画策定手順)

まちづくりの提言(まちづくりフォーラム)

計画骨子案策定(プロジェクト会議)

計画骨子案の審議・案決定(幹事会→協議会)

※計画構成→まちづくりの基本方針、基本計画、実施計画

県知事協議・計画の決定(協議会)

# 川西薩地区法定合併協議会 「まちづくりフォーラム」委員

■まちづくりフォーラム代表（1名） 川内市 中 俣 知 大

■まちづくりフォーラム副代表（4名）  
 入来町 池 頭 虎 光  
 串木野市 東 節 代  
 入来町 柏 木 俣  
 樋脇町 中 島 増 夫

## ■分野別委員構成

分 野	市町村名	氏 名	性別	備 考
社会基盤	川内市	中 俣 知 大	男	◎座長
	串木野市	小 川 昭 寛	男	○副座長
	樋脇町	小 辻 浩 史	男	
	入来町	田 島 直 美	女	
	東郷町	桑波田 景 美	男	
	祁答院町	富 森 貢	男	
	里 村	村 岡 豊 治	男	
	上甕村	小 村 亮 一	男	
	鹿島村	小 村 俊 子	女	

分 野	市町村名	氏 名	性別	備 考
産業経済	川内市	影 山 俊 二	男	
	串木野市	楮 山 四 夫	男	○副座長
	樋脇町	堂 前 一 郎	男	
	入来町	柏 木 俣	男	◎座長
	東郷町	小 林 三 郎	男	
	祁答院町	別 府 生 次	男	
	里 村	塩 田 将 史	男	
	上甕村	藏 元 保 海	男	
	鹿島村	橋 野 利 明	男	

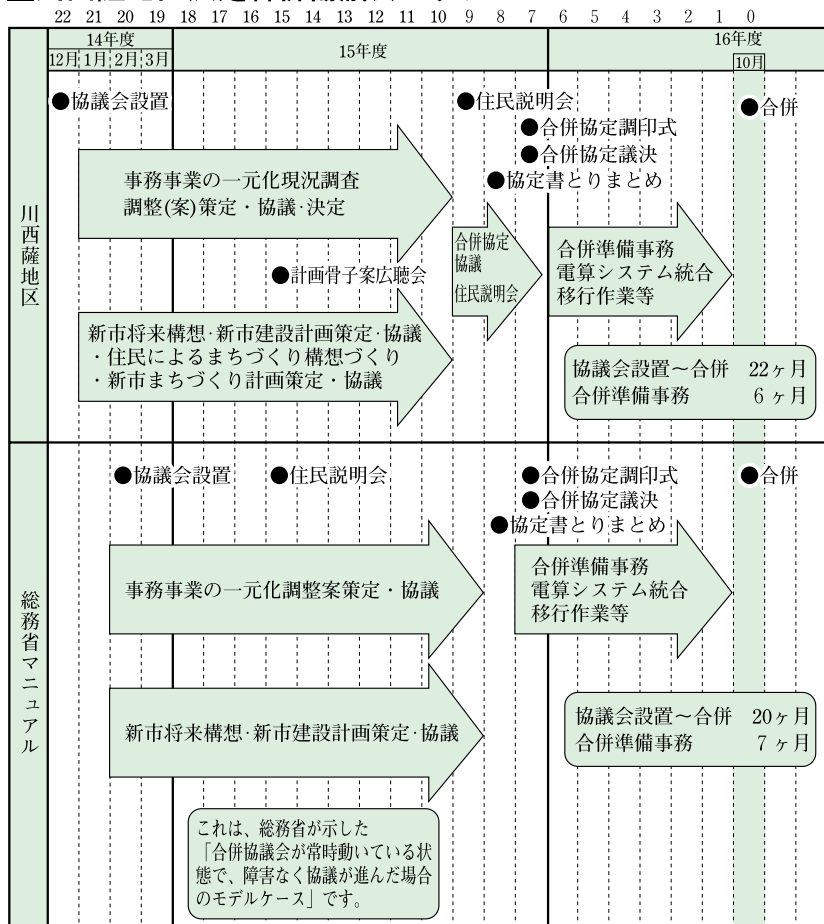
分 野	市町村名	氏 名	性別	備 考
生活環境	川内市	今 村 久美子	女	○副座長
	串木野市	勘 場 裕 司	男	
	樋脇町	猶 野 福 子	女	
	入来町	池 頭 虎 光	男	◎座長
	東郷町	木 原 清八郎	男	
	祁答院町	松ヶ野 多鶴子	女	
	里 村	角 淳 子	女	
	上甕村	宮 下 文 明	男	
	鹿島村	小 村 俊 子	女	

分 野	市町村名	氏 名	性別	備 考
教育文化	川内市	春 田 和 満	男	
	串木野市	東 育 代	女	
	樋脇町	中 島 増 夫	男	◎座長
	入来町	松 下 純 一	男	
	東郷町	久留須 清 子	女	
	祁答院町	柏 原 神一郎	男	
	里 村	角 昭 久	男	
	上甕村	和 田 元 子	女	
	鹿島村	平 川 龍 一	男	○副座長

分 野	市町村名	氏 名	性別	備 考
保健福祉	川内市	伊集院 睦 子	女	
	串木野市	東 節 代	女	◎座長
	樋脇町	眞 野 良 子	女	
	入来町	安 藤 千代記	男	
	東郷町	古 城 和 行	男	
	祁答院町	大 園 英 和	男	
	里 村	中 村 一 行	男	
	上甕村	柳 範 一	男	○副座長
	鹿島村	橋 野 勝 彦	男	



## 川西薩地区法定合併協議会スケジュール



\*本協議会では、住民参画によるまちづくりや住民サービス等に関する十分な協議を進めるために協議期間を設定してあります。

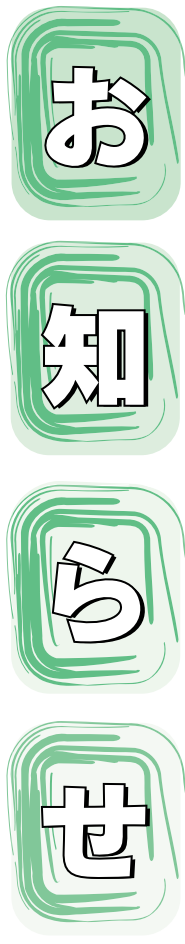
## 《合併問題Q&A》

Q 合併すると行政サービスは低下  
ませんか？

A 合併後の諸住民サービスは、具体的  
には法定合併協議会の中で協議されま  
す。原則として住民サービスの低下にな  
らないように調整をしていかなければな  
らないと考えています。なお税金・使用  
料・手数料などについても、同様に将来  
の財政状況などを考えながら各項目ごと  
に協議、調整されます。

Q 合併した場合の国や県の支援措置と  
はどのようなものがあるのですか？

A 合併に伴う住民サービスの均一化  
(公共料金格差是正、公債費負担格差是正  
など)、電算システムの統一、ネットワー  
ク整備に要する費用が交付税で措置され  
るほか、普通交付税の算定が特例措置さ  
れます。このほか、合併した新市のまち  
づくりのための事業や振興のための基金  
造成に対する財政措置もあります。



## 最新情報を ホームページでどうぞ

川西薩地区の市町村合併に関する情報を  
住民の皆さんに提供し、判断材料としてい  
ただくため、ホームページを開設していま  
す。市町村合併に関する基本的なこと、合  
併協議会の開催状況や議事録、今後のスケ  
ジュールなどを掲載。皆さんのご意見やお  
問い合わせにも利用できるようにになってい  
ます。アドレスは次の通りです。  
<http://www.senseistu-gappei.kagosima.jp/>

## 今後の法定合併協議会 開催予定

法定合併協議会の第三回会議  
二月十三日(木)午後一時半から  
川内市の太陽パレス  
法定合併協議会の第四回会議  
三月二十八日(金)午後二時半から  
串木野市のシーサイドガーデンささ

## 協議会は傍聴できます

法定合併協議会の会議は住民の方も傍聴  
できます。一般傍聴人の定員は三十名。会  
場の都合で定員数が増減することもありま  
す。傍聴を希望される方は、所定の傍聴届  
に住所及び氏名を記入し、会場で協議会事  
務局に提出、傍聴証の交付を受けてくださ

い。傍聴証は会議開催予定時刻の十五分前  
から先着順に交付。傍聴希望者が定員を超  
える場合はくじで選ぶこととなります。

## 「提言 ありがとうございました

新しい市のまちづくりについての提言募  
集は一月三十一日をもって終了させていた  
だきました。

住民の皆様や関係市町村、一部事務組合  
の職員からお寄せいただきました約五百七  
十件のご意見・提言は、新市将来構想住民  
アンケート(平成十四年十一月実施済み)  
の中での自由回答意見五百九十件とあわせ  
(約千六百十件)、今後、「まちづくりフォー  
ラム」の活動や「新市まちづくり計画」策  
定作業に活用させていただきます。

なお、内容等については、その概要を後  
日ホームページなどで紹介させていただきます  
予定です。

ご協力いただきました皆様方、誠にあり  
がとうございました。

## (お詫びと訂正)

任意合併協議会だより第3号のお知らせ  
「今後の協議会開催予定」で三月二十七日開  
催の会議が第三回会議となっていました。が、  
第四回会議の誤りでした。

なお日程は三月二十八日に変更されまし  
た。